

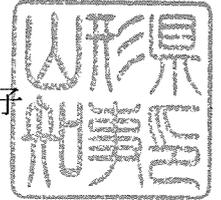
エネ第354号

令和7年3月28日

鶴岡持続可能社会研究所

鶴岡市議会議員 草島 進一 様

山形県知事 吉村 美栄子



遊佐沖・酒田沖・洋上風力発電への公開質問状（5回目）について  
（回答）

貴殿より、令和6年8月22日付けで提出ありましたこのことについて、別紙のとおり回答します。

# 令和6年8月22日付け「遊佐沖・酒田沖・洋上風力発電への公開質問状（5回目）」

## に対する回答

### 質問1

県民を、事実と異なる虚偽を言及して、誘導しようとしたこと、又、科学的なシミュレーションを科学的論拠なく無視し続けてきた事実について謝罪し、正確な情報を伝え直す事。又、真摯にリスクコミュニケーションをはかろうと尽力している科学者、有識者の見解を踏まえる事を強く求める。

### (回答)

(酒田市での住民意見交換会における説明について)

平成28年11月の環境省「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会」の報告書（以下、「環境省報告書」という。）では、風車から1km程度離れると騒音が40dB（風車騒音によるわずらわしさ（アノイアンス）が増加するレベル）を下回るレベルまで減衰することが示されています（以下参照）。このことを踏まえ、「1km程度離れると騒音が減衰して人の健康に直接的に影響を及ぼす可能性は低い」という回答を行いました。

また、「台湾では14MWクラスを5kmに計画がある。」旨の説明については、下記のとおり台湾環境部のホームページにて確認しており、虚偽という指摘は当たらないものと考えております。

※「環洋離岸風力発電計画」

([https://eiadoc.moenv.gov.tw/EIAforum/40\\_View.aspx?para=41D98611606F35A3DDA0E0173B9D986CF17A815F8CBC1AC472E1E39AC8A5C118](https://eiadoc.moenv.gov.tw/EIAforum/40_View.aspx?para=41D98611606F35A3DDA0E0173B9D986CF17A815F8CBC1AC472E1E39AC8A5C118))

### (参考)

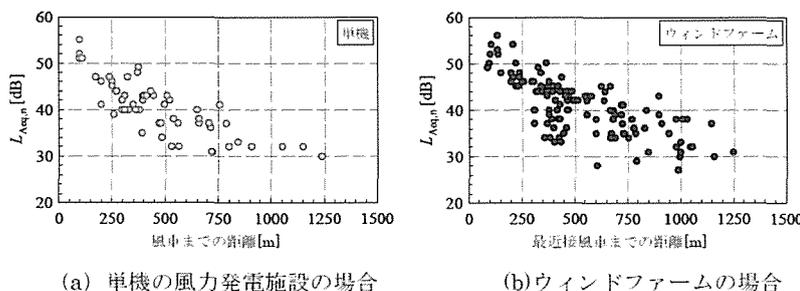


図5 風力発電施設から測定点までの水平距離と風車騒音の関係

(平成28年11月 環境省「風力発電施設から発生する騒音等の評価手法に関する検討会」の報告書より抜粋)

### (シミュレーションソフト「H-risk」について)

令和5年3月28日付けエネ第276号及び令和5年6月28日付けエネ第40号で、既に回答申し上げているところでありますので、そちらを御参照ください。

(科学者、有識者の見解について)

令和6年7月22日付けエネ第63号で既に回答申し上げているところでありますので、そちらをご参照ください。

なお、今後、酒田市沖の議論を進めるにあたって、有識者による説明と意見交換の機会を設けるなど、国や酒田市と連携しながら、地域の理解促進に努めてまいります。

**質問2**

国とともに、現行計画を見直し、風車先進国の欧米や世界の常識に習い、浮体式の風車に変更し、22キロ以上沖への、真に持続可能な開発計画への変更を強く求める。

(回答)

令和5年6月28日付けエネ第40号で既に回答申し上げているところでありますので、そちらをご参照ください。

以上